

船橋日大前駅防犯ボックスの今後について (令和4年3月31日閉所の御報告)

令和3年10月12日
千葉県環境生活部くらし安全推進課

皆様には、日頃、船橋日大前駅防犯ボックスの運営につきまして、合同パトロールの実施などを通じ御協力を賜っているところであり、厚く御礼申し上げます。

県では、地域防犯力の向上を目的として、防犯ボックス事業を平成25年度から開始し、モデル事業として、県内に4か所の防犯ボックスを設置しました。

船橋日大前駅防犯ボックスは、モデル事業の1つとして、東葉高速鉄道船橋日大前駅東口ロータリー内に、平成28年1月に設置し、今日まで6年近く運営を続けてまいりました。

県設置の防犯ボックスについては、平成30年に行った運営内容等の検証において、地域の方々との合同パトロール活動などにより、地域住民の安心感の向上や地域防犯活動の質の向上への寄与など一定の効果が認められたこと、現在は市町村による防犯ボックスの運営も県内11市町12か所において行われており、モデル事業としての役割は終えたものと考えております。

加えて、独自の負担で防犯ボックスを設置している他の市町との公平性の観点から、来年、3月31日をもって、本防犯ボックスは閉所、運営終了とさせていただくこととなりました。なお、施設の撤去は4月以降の予定です。

県としましては、今後は地元船橋市と連携し、防犯カメラやパトロール資機材の整備に対する助成事業などを通じて、地域防犯力の維持、向上につき御支援してまいりたいと存じますので、御理解くださいますようお願いいたします。

最後に、これまで、本防犯ボックスの運営に御協力いただきました、地域にお住いの皆様に改めて感謝申し上げます。

長い間、大変お世話になり、ありがとうございました。